

令和元年

7月

ハツ島だより

インクルーシブに向けて

教頭 天方 和也

2014年4月から附属特別支援学校との併任という形で福井大学教職大学院に在籍し今年3月に退任しました。退任に際して、教職大学院の機関誌「news letter」に掲載した文章(一部要約、改変)を以下に載せます。

私の専門は特別支援教育です。特別支援学校の子どもたちと楽しい日々を過ごす中で彼等の行動や話を見聞きするときに、一見してその意味や意図するところが分からないことがあります。その子の気持ちや過去の行動パターンなどをよく考えると、「あっ、そういうことか」と納得する場合がほとんどです。突飛と見える行動も、その子の判断基準や価値観に沿うと、ちゃんとした理由や決まりがあるのですが、ただそれが同年代の大多数の定型発達の子たちと異なる、いわばマイノリティであるがゆえに、多くの人から理解されないだけなのです。このマジョリティとマイノリティという視点から、文化人類学者のレヴィ・ストロースや精神医学者のミシェル・フーコーの著作等を踏まえた障害原論としてまとめました。以下に一部を紹介します。

思想家の吉本隆明は「障害者問題と心的現象論序説」の中で「障害とは何か、ということは人間の歴史が最後まで解決を残すだろう問題です。障害には、神様に近いと崇められた古代から、働けないから価値が小さいと蔑まれた近代社会に至るまでの、目もくらむような価値観の変遷というものがあります。けれども現代、障害は『神でもなければ価値が小さいでもない、それは人間なんだ』という概念が少しずつ闘いとられてきつつある」と述べています。

「神様に近いと崇められた」ということの具体的な事実としては、中世から文芸復興期にいたるまで、西欧社会は狂気に対して寛容であり、狂気は酩酊船による放浪、巡礼船による巡礼という行動様式を担う存在であり、また狂気を主題とした演劇、文学、絵画が多く存在していたということが挙げられます。

「働けないから価値が小さいと蔑まれた」に関しては2016年に津久井やまゆり園で起きた悲惨な事件が挙げられます。この事件は「障害者は社会からいなくなればいい」とした優生思想に基づく「インクルーシブな社会」の対極にある、障害者排除の象徴的な出来事です。こうした思想や行動の源泉は、生産性や労働能力に基づく人間の価値の序列化、人の存在意義を軽視・否定する論理です。障害者の生存を軽視・否定する思想とは、障害の有無に関わらず、すべての人の生存を軽視・否定する思想なのです。

この両極ではなく「それは人間なんだ」に関する、インクルーシブな社会に向けて希望あふれる文章を最近目にしたので紹介します。著名な生物学者の福岡伸一氏の文章です。3月21日が世界ダウン症の日であることや近年、簡便に染色体や遺伝子を調べる出生前診断が普及しつつあることなどを記した後に、今年の3月21日はまた春分の日であり「祝日法」第2条に春分の日は「自然をたたえ、生物をいつくしむ」日であるので「生まれ得て、生き延びる力がある生命にはひとしく生きる意味があるはずだ。ならば生まれてくる生命を選ばないことを選ぶあり方を考えたいと思う」と結んでいます。

このような感性、考え方が広がることを願っています。

<ハツ島だより 7月号>

ハツ島だよりの感想や御意見、御要望をお聞かせください。

部 組 _____ 【※匿名でも結構です】



7月の主な予定

- 3日(水) 修学旅行(高) (~5日)
- 4日(木) 七夕集会(小)
- 5日(金) レインボータイム⑥(小中のみ)
- 10日(水) 個別教育相談・授業参観(~12日)
集金日(7, 8月分)
- 12日(金) レインボータイム⑦(終日活動)
おしゃべりサロン③
- 15日(月) 海の日
- 16日(火) 1日仕事(高)④
- 17日(水) 大掃除(高)
情報モラル教室(中・高)
- 18日(木) 収穫祭(中), 大掃除(小・中)
食育(小)
- 19日(金) 夏休み前集会(下校 11:30)
夏休み生活指導
- 21日(日) 夏季休業(~8/25)
- 22日(月) 事業所見学会(~25日)
事業所体験実習(中2・3年, 高等部)
家庭訪問期間(~31日)



8月の主な予定

- 3日(土) 育友会わくわく夏まつり
- 9日(金) 入学願書締切(小・中)
- 11日(日) 山の日
- 12日(月) 振替
- 20日(火) 入学選考会(小・中)
- 23日(金) 合格発表(小・中)
- 26日(月) 夏休み明け集会(14:30 下校)
給食開始, 教育実習生対面式,
教育実習開始(主免~9/24日,
副々免~9/6日)
- 28日(水) 部活動④, 大掃除(高)
- 29日(水) 大掃除(小・中), 1日仕事(高)⑤
- 30日(金) レインボータイム⑧

9月の主な予定

- 4日(水) 尿検査配付
- 5日(木) ぎょう虫検査配付
尿回収(~6日)
- 6日(金) 全校集会, レインボータイム⑨
- 7日(土) 虹の市(ワークフェア(~8日))
- 9日(月) 教育実習(副々免~9/24日)
- 10日(火) 実習前校医検診(高)
- 11日(水) ぎょう虫検査回収
部活動⑤
- 13日(金) レインボータイム⑩(終日活動)
- 16日(月) 敬老の日
- 23日(月) 秋分の日
- 25日(水) 大掃除(高)
介護等体験(~26日)
- 26日(木) 大掃除(小中)
- 27日(金) 集金日・全附連北信越協議会

「れんしゅうがんばって

いっぱい むらおう運動会」

6月8日に令和初となる第49回運動会が行われました。前日からの雨でしたが、当日は体育館に響き渡るほどの選手宣誓のもとチームが団結し、どの種目においても子供たちは練習の成果を発揮していました。小学部の「お弁当大作戦」、中学部の「令和の中学部もおもしろーわ」、高等部の「東京買い物リレー ミッキーカードでチャンスをつかめ」と各学部種目は工夫が凝らされていました。お昼からは、グラウンドへ出て、高等部競技と色別対抗リレーを行いました。濡れたグラウンドだったため、全力疾走とはなりませんでした。全員が力と気持ちを込めて最後まで走りきることができました。

また、今年もたくさんのOBの方が参加され、テカパンリレーや綱引きなどの種目で盛り上がったのはもちろん、昼休憩の「卒業生を囲んで」で交流を深め、在校生はよい刺激を受けることができました。



開会式



全員ダンス

学校給食試食会(6月24日)

学校給食への理解を深め「食」への関心を高める目的で、今年度入学児童生徒の保護者を対象に学校給食試食会を行いました。参加して下さった保護者の皆様、ありがとうございました。(栄養教諭) 尾崎由美

- 【参加者の感想(一部抜粋)】
- ・子供が喜んで給食を食べているところを見ることが出来てよかった。
 - ・毎日「給食おいしかった!」と話してくれる。最近苦手な野菜にも手をのばすようになってきたのは給食のおかげだなと今日食べてみて実感した。
 - ・「給食」=「食べる」ということしか考えていなかったが、今日のお話を聞いていろいろなことを工夫して作られていると改めて感じた。
 - ・給食の配膳など一つ一つに教育的な要素がありとても大切な時間だと思った。



(展示)給食メニューの工夫

